



諏訪市文化センター運営検討委員会 実施報告について

令和8年
諏訪市教育委員会

目次

1. 運営検討委員会の概要

2. 運営検討委員会の内容と意見

3. 運営検討委員会の総括

4. リニューアル後のビジョン・運営方針について

1. 運営検討委員会の概要

1. 運営検討委員会の概要

目的

1. 当館の特徴を活かしつつ、「文化芸術に親しみ、生涯にわたって自発的に学び続け、個人やグループが学んだ成果を活かし、文化芸術を通じて仲間を広げ、人と人がつながる」ための施設管理や運営を検討する。
2. 改修後、新たな賑わいの創出を図るための施設管理や運営を検討する。

※任期は2年間（令和6年7月29日～令和8年7月28日）

メンバー

（敬称略）

名前	分野	名前	分野
二村 悟	学識経験者	三澤 凜（～R8.3.31）	市内高等学校の生徒
高見 俊樹	学識経験者	高津 璃子（～R7.3.31）	市内高等学校の生徒
石城 正志	文化芸術関係者	花岡 日珠（R7.4.1～R8.3.31）	市内高等学校の生徒
中島 昌之	文化芸術関係者	牛越 雅紀	教育関係者
宮嶋 孝枝	文化芸術関係者	金子 雄二	まちづくり関係者
木村 修子	園児または児童生徒の保護者	石田 名保子	公募による市民
河西 風花	市内高等学校の生徒	山田 佳子	公募による市民
		宮坂 寿子	公募による市民

1. 運営検討委員会の概要

全体経過

抽象

検討の流れ

ワークショップにより、思い描く諏訪市文化センターの**未来像**
や事業展開などを具現化



アイデアを基にしたトライアルイベントを実施し、**新たな使い方や賑わい創出について、より現実的な視点から検証**



専門家との意見交換や研修参加により、**具体的な検討に向けた先進事例などの共有**



ビジョンや運営方針など、**リニューアルに向けたより具体的な項目の検討**

具体

年度	回	日程	検討事項
R6年度	1	R6.7.29	運営検討委員会の進め方および大規模改修の取組状況について
	2	R6.8.30	ワークショップ① 「生まれ変わる文化センターでやりたいこと、楽しみたいことは？」
	3	R6.10.22	ワークショップ② 「施設の将来像と事業展開を深掘りしよう！」
	4	R6.12.17	ワークショップ③ 「ホワイエで開催できるイベントを企画し、実践しよう！」
	5	R7.3.24	トライアルイベントについて
R7年度	6	R7.6.10	意見交換会「文化施設の活用と魅力発信について」
	7	R7.11.10	賑わいスペースの使い方/利用規則および料金体系について
	8	R8.2.5	運営方針および運営体制について
	9	R8.3.24	リニューアル後のビジョン・運営方針等について
R8年度	10	R8.7.27	リニューアル後のビジョン・運営方針の策定に向けて 諏訪市文化センター運営検討委員会のまとめについて

2. 運営検討委員会の内容と意見

概要

- 日 時 令和6年7月29日（月） 17：30～19：00
- 場 所 諏訪市公民館 2 階 講義室
- 内 容
 - ・ 諏訪市文化センター運営検討委員会の進め方について
 - ・ 諏訪市文化センター大規模改修にかかる取組状況について
- 出席者 委員14名 ※傍聴者：一般3名、新聞記者5社

委員会の様子



2-1. 第1回運営検討委員会

2. 運営検討委員会の内容と意見

委員からの質問・意見と回答

No.	質問・意見	回答
1	あくまで意見聴取が目的なので、委員会としての統一見解を作成する必要はなく、分野別の整理が出来れば、と考えていましたがそれによろしいでしょうか。	お見込のとおり、その方向で進めていきたいと考えています。
2	「管理運営に関する意見」とは、改修完了後の施設について「活用への夢を語る」ことでも良いのでしょうか。高校生委員の意見はその方向に向かっており、それを尊重したいと思いましたが。	お見込のとおり、その方向で進めていきたいと考えています。
3	本委員会では、どこまで具体的な検討が必要なのでしょう。予算も実現性も無視して「もっと文化センターがこうなって欲しい」というようなことを話す場なのかと思っていましたがどうお考えでしょうか。	お見込のとおり、その方向で進めていきたいと考えています。
4	委員会の目的について、設置要綱に基づき委員長の立場でもご説明したつもりでしたが、必ずしも全委員に共有されていないように感じました。改めて事務局より説明が必要かもしれません。	頂いた件については後ほど、P7で説明させていただきます。
5	ご提案した「施設見学」はイメージづくりのために必要と考えます。一方それが施設面での要求に繋がってしまうかもしれません。ハード面での要望には限度があることについても改めてご説明をお願いしたいと思います。	頂いた件については後ほど、P7で説明させていただきます。
6	文化センターに思い入れのある委員が集まっているので、丁寧に意見を聞く必要があると思います。そのためには、会議の方向性（又は方法）の確認をお願いしたいと考えています。	頂いた件については後ほど、P7で説明させていただきます。
7	昨日の委員会の添付資料のような条例類とは別に、運営指針といったものが欲しいと思いますが、策定はお済みでしょうか。あるいは、これを本委員会で提案するのでしょうか。 ※劇場法（「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」）において、劇場と名乗るには、設置者（市）によって「定められている文化芸術振興のための条例・計画等に則しつつ、同方針を定める」必要があります。資料を拝読する限り、『劇場・音楽堂』に当たる施設を目指されていると思われますが、文化センターは現状、「貸会議室」に近い運営だと感じました。	「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」および「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」において、地方公共団体の責務についてが示されています。また、諏訪市教育振興基本計画において、生涯学習・文化芸術についての基本的方針を定めますが、これに基づく文化センターの指針については、前回お示したビジョンをベースとしながら、検討を進めたいと考えています。
8	運営方法について、直営か指定管理（或いは委託）かは、本委員会で検討されるべきことでしょうか。 文化センターの理想像を本委員会で提案し、方向付けをした上で、実際の担い手に指針・方針として受け渡すのであれば、直営か指定管理かを検討するのは事務局で良いのではないのでしょうか。 ※本委員会で提案された理想像を実現するには、どの運営方法が良いかで選択する。どちらにもメリット・デメリットがあると思っていますが、それを本委員会で選択できるかは不明です。	お見込のとおり、管理の形態については、ご提案いただいた内容や、委員会でいただいたご意見を参考とさせていただきます。市教育委員会で検討させていただきます。
9	・リニューアル後の管理費支出・事業費支出の予算案については、可能な限り本委員会には公開していただきたいが、予算案はあるのでしょうか。もしくは、本委員会の提案に合わせて予算が追いかける予定でしょうか。 自主事業費支出も全て市で持つのであれば良いですが、劇場運営のセオリー的には貸館収入＋市からの補助予算で自主事業支出は賄うことが多いです。特に指定管理の多くはこの形です。つまり「貸館収入を上げるためにどうするのか」の検討も場合によっては必要かと思っています。 ・文化センター使用料については、付帯設備費と電気使用量は取っていますか。 ※上記に付随して、利用率の高さに貸館収入がそぐわない気がします。減免でのホール利用も利用率に入っていて、それが半数以上を占めているのではないのでしょうか。これでは何も検討できないので、ホールの貸館利用率（有料貸分）をお出してください。	【現状】 ・リニューアル後の管理費の予算案は、実施設計を進めていく中で検討するため、現在はありません。 ・使用料に電気料も含まれているため、別途徴収はしていません。 ・付帯設備費は、ピアノ、プロジェクターのみ徴収しています。
	※これらの質問は、全て「リニューアル後は貸館利用率を上げつつ、自主事業も行う」場合の質問です。「リニューアル後については、貸館利用は現状維持で、自主事業を行うための諸経費は予算を増やして全額市で賄う」のであれば、「もっと売り上げを上げる」検討は不要なので、即、「どんな自主事業をしたいか」「にぎわいの創出（＝市民への無料開放）と貸館利用者・主催者への利便性の向上との折り合いどころ」の検討に入れば良いと考えます。ちなみに、R4並みの600万～800万という事業収入ですと、モノにもよりますがコンサートは年間に2本できるかどうかくらいだと思います。どういう自主事業を年間でどのくらいやるか、ということによっても貸館への取り組み強化具合は変わります。	【回答】 貸館としての収入や自主事業についても、ご提案いただいた内容や、委員会でいただいたご意見を参考とさせていただきます。市教育委員会で検討させていただきます。

委員からの質問・意見と回答

No.	質問・意見	回答
10	消防法的には大丈夫でしょうか。避難経路がよくわかりませんでした。	消防法のほか、各種現行法との適合を確認しながら基本設計を完了しています。
11	音漏れは大丈夫でしょうか。特に、新設する会議室類の音がホール（舞台上・客席）に漏れる心配はないのか、検証済みでしょうか。	音漏れについては、実施設計において確認をしていきます。
12	・館内空調はブロッキングできますでしょうか。利用の無い日の節電対策は大丈夫でしょうか。特に、ホールの利用が無い日でも、ホワイエ開放・楽屋をフリースペースに開放とのことであれば、開館日の営業時間中はずっと光熱費が全館にかかり続けるということでは、と見えてしまいました。 ・廊下を作って回遊型は悪くないと思いますが、楽屋をフリースペースに開放にすると、前日フリースペースにしていた楽屋を利用日の入館時間前までに楽屋の形状に整えなければならない訳で、それは大丈夫なのでしょうか。また、恒常的に使えるわけではないフリースペースにどの程度のニーズがあるのかも疑問です。それであれば、いっそのこと楽屋も予約制にして貸し出すのも良いかと思えます。 ・ホール利用の申し込み期限は利用日1週間前なのでしょうか。それであれば、1週間前になって、その日がフリースペースになるかどうかやっとわかるというものなのか、ホワイエについても同様です。例えば1週間しか期間がないのに「ホワイエピアノコンサート」は企画できないとなれば、ホワイエ利用を前提でホールの一般への貸し出しをしない日が発生するってことになるので、稼働率がどんどん下がっているということです。（自主事業としてやるなら〇ですが）	・現状のホール棟の冷暖房については、ONOFFの2択のみであり、温度調節もできない仕様となっていますが、改修後は各集会所ごとやホワイエ等の空調口ごとの調整を含むONOFFはできる仕様を計画しており、現状に比べると利便性が向上すると考えています。 ・楽屋兼フリースペースの使用方法や申し込みの方向についても、ご提案いただいた内容や、委員会でいただいた意見を参考に、市教育委員会で検討させていただきます。 ・現状の条例や規則については、文化センターを貸館として利用するためのものであるため、リニューアル後の利用ではそぐわない点も出てくることになります。その点についても何か良いアイデアがあれば、ご提案やご意見をいただければと思います。
13	2024年4月から 改正障害者差別解消法が施行されていますので、劇場においても合理的配慮/アクセシビリティ向上は必須です。バリアフリートイレの増設など、良い取り組みも多数だと感じていますが、EV問題の事務局からの説明を聞いていて少し不安になりました。EV問題ですが、今更EVの位置は変えられないと思いますが、改正障害者差別解消法的にも合理的配慮は必須です。つまり、改修案のEVにて2階にあがって、回廊を誘導し、楽屋を通り抜けて2階客席にご案内が落ち着きどころだと考えています。ただし気になるのは、「客が通り抜ける楽屋なんて使えない」問題です。1階の諸室を楽屋としても使えるようにするのが良いのではと思いました。2階楽屋を利用される主催の場合には、2階客席は開放しないか、階段でしか2階に上がれないことを事前に告知してもらい、障がいのある方（自力で階段が難しい方）には1階席を優先的にご案内する（対話による合理的配慮の例です）等で、対応はこのままでも可能です。（という説明が合理的配慮とは、ということも含めて事務局に用意されていると良いと思います。恐縮ながら専門的知識が足りてない印象です）	・エレベーターの位置については基本設計の内容を基本としますが、合理的配慮/アクセシビリティ向上については、実施設計の中で確認し進めていきます。 ・ご提案いただいた内容や、委員会でいただいたご意見を参考とさせていただきます。市教育委員会で検討させていただきます。
14	（外注）舞台さんの控室はどこになるのでしょうか？とにかく、ホールの裏側がお客様と密接しています（ホールバックヤードに貸館の会議室類が食い込んでいる印象）。これだと、ホール利用の主催者のスタッフ陣は気を遣うだろうと単純に思いました。（ホール貸館利用時は開放しない会議室を設ける等で工夫は出来るかもしれません）	お見込のとおり、集会所の一部をバックヤードにしたり、開放しないなどの使い方が必要だと思います。その点についても何か良いアイデアがあれば、ご提案やご意見をいただければと思います。
15	資料に「専門職員の設置」という記述がありましたが、これは、技術スタッフさんのことでしょうか。あるいは、制作スタッフのことでしょうか。いずれにせよ、専門的人材がいてくれる方が良いに越したことはないですが、それも、リニューアル後の文化センターのイメージに寄るという印象です。他県文化施設含め、技術スタッフ常駐館ばかりではありません。ホール稼働率によっては、民間委託によって必要な日に来ていただくという形が取れると思います。制作スタッフについても同様で、「自主事業」の建付けによるという印象です。専門職員の幅でいうならば、施設管理・警備の分野の専門職員も場合によっては必要です。現在のように、シルバーさん委託という形でも良いのですが、どのセクションも予算が潤沢にあるということであれば、専門的人材が居るにこしたことはないのは前提です。	専門職員についても、様々な職種、雇用形態等考えられると思います。ご提案いただいた内容や、委員会でいただいたご意見を参考とさせていただきます。市教育委員会で検討させていただきます。
16	説明資料P26の「省エネ計画」について、地球環境にやさしい建物、一般に言われている「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）」の位置付けとなるのでしょうか。	ZEBについては、設計当初から検討をしていましたが、目標達成にかかる費用等を考慮すると、ZEBの位置付けまでの改修は難しいと考えています。ただし、諏訪市ゼロカーボンシティ宣言における脱炭素化社会を目指すため、建物の高断熱化や主燃料の変更、太陽光パネルの設置等により、「官庁施設の環境保全性基準」による水準のBEI ≤ 0.9を上回るBEI ≤ 0.8の達成を目指しています。
17	文化芸術活動拠点施設のオープン化について、市民が気軽に文化・芸術にふれあい、次世代にその文化が継承され、文化と平和の象徴となる施設になることを期待します。	リニューアル後の文化センターについて、委員の皆さんと一緒に目指していきたいと考えてます。

概要

- 日 時 令和6年8月30日（金） 17：30～19：15
- 場 所 諏訪市文化センター 第3集会室
- 内 容
 - ・第1回運営検討委員会に対する委員からの意見等について
 - ・ワークショップ①「生まれ変わる文化センターでやりたいこと、楽しみたいことは？」
- 出席者 委員11名 ※傍聴者：一般2名、新聞記者3社

委員会の様子



ワークショップの結果

WS①テーマ「生まれ変わる文化センターでやりたいこと、楽しみたいことは？」

※広報すわ12月号挟み込みより

Aグループ

③

- 学習・研究・発表会、楽しい！
 - 発表や演奏のリアルタイム発信や簡単なコンテンツ作り
 - 文化芸術発表会、学習会やシンポジウムのコーディネートや助言者が欲しい
 - ポスター発表、壁新聞、映像発信の場を！
 - 楽しくオープンな研究会、シンポジウム、学術発表会を！+懇親交流会
 - (研修会)分科会スペース+交流スペース
- 参加型
 - 子どもからお年寄りまで作る舞台
 - 高齢者が子ども達に昔の遊びを教える場所
 - アートや演奏を素人として楽しむ(表現者との交流)(わかりやすい表示)
 - 芸術のワークショップ
 - 楽器を利用して自由に使わせてもらえる場所
 - 思いっきり大きな声が出せる場所(歌ったり、騒げる)
- 鑑賞型
 - 伝統芸能を定期的に楽しむ会・学ぶ会やスペース
 - サブスクで鑑賞会など
- フェス
 - 今までの市の文化祭よりもうちょっとワフな文化祭
 - FUJIロックフェスみたいな
 - 高校生デザイン
- 観場所・交流・飲食スペース
 - 飲食(外で)しながら集まって楽しむ
 - 自由に遊べる子どもの遊場所
 - 家族皆んなで足を運べる場所(出入りが気軽にできる)
 - 中庭を使って何か
 - 利用者同士の交流スペース(フリー)お茶飲み場

②

- 未来志向のヤバい話
 - 役所の匂いのしない運営助言者が欲しい
 - 「登録有形文化財」の探検隊、学習会
 - 補助金 or 入約補助の相談窓口
- 学校寄り
 - 学生が学校帰りに学習できる場所
 - 学校の休み(夏休み、冬休み)の学習の場所
- 駅周辺
 - 会に行ける歌手！の毎日コンサート(府立公園でリンゴ箱で)
 - 駅員の面白い創出(空き家、空き地、空き人)

④

③



Bグループ

①

- 新しい使い方
 - 花道を使えるようにして、歌舞伎を呼ぶ
 - 訪客室(3つ)を音楽サークルに積極的に利用してもらう
 - 翻訳、解説サービスが利用できるようにする(ホール)
 - ホテルと連携して、大きな全国会議や国際会議に使う
- 学生の利用
 - 学校関係の発表の場として使ってみよう
 - 気軽にいくことができる場
 - ダンス発表する場
 - 高校は音楽会のようなことはないで歌ってみたい
 - 高校生のバンドライブ(コンテスト?)
- ホワイエの活動
 - ホワイエでの催し物、並木でコンサートの屋内延
 - ロビーコンサート(何の演奏でも可！)
 - ホワイエを開放する。朝から夕方まで誰でも利用できる。
 - ロビーの階段を利用してファッションショー的なもの
 - ホワイエで展示会のような場
 - 外とホワイエで子ども向けのイベント
 - 絵画等の展示(会議室ではなくホールのロビーや階段スペースを利用)
- 文化センターを知ってもらおう。子どもも楽しめる
 - 舞台設備やその他会館を知ってもらう為の見学ツアー
 - 謎解きイベント(全館使って)各施設ごとに何か問題があって、それを解く的な?
 - 子どもたちが遊べる広場
- 利用しやすく
 - 借りるためにはお金が必要なので、もっと誰でも使える場
 - ステージを練習場所として開放(安価で)
- 協力してもらおう
 - 音楽・照明の研修会の開催(サポートメンバーの育成)

④

②



Cグループ

③

- 芝生・ホワイエ
 - ホワイエを開放して、広場とつなげたいイベント(ボランティアが活動だから生かせるかも)
 - ボラフェス、イベント
 - 子ども食堂
 - 多世代コンサート
 - 多世代交流
 - お楽しみ会
 - 中高生の演奏を芝広場で聴きたい
 - 芝広場でゆっくりしたい
 - 芝生でビールを飲みながら何か
 - テラノザウルススレス
 - ストリートピアノ 自由に弾けたらー
 - プチコンサート、プチ発表会
 - 手話落語とか
 - 毎日が文化祭
- 施設
 - ホワイエ・通路など全体的に明るい方がいい
 - 入口の押戸の模様(北の字)がすてき...高層感はないけど自動ドアに印刷するのは
 - 文化センターの湯 浴場
 - 駅からの歩道強化
- イベント
 - すわこと移動して大神楽
 - 定期的に新作映画
 - コスプレするハロウィンの本格的なやつ
 - 音楽舞台としても使用できると大変嬉しい
 - 宝塚とかリアル演出ゲームとかやったら面白そう
 - 宝塚し
 - 吉本みたい
 - 一流のアーティストが見たい 会いたい
 - さだまさし 生さだ
 - 有名に何日が泊まって、映画、ドラマ、演劇、ダンス?作ってもら
 - アイドルにも会いたい 花村そうとか、なんなら共演したい(子どもが)、それに出る
 - ぐるっと一周フォークダンス
- 朝
 - 早朝コンサートでリフレッシュ
 - おじさんのワーク
 - 男の朝活 AM5:00 オープン
 - 部活の朝練
 - ラジオ体操
 - 文化センターで朝食を
 - 太極拳
- 夜
 - 真夜中コンサート
 - 夜、梅そうだから、お化け屋敷にする

③

②

③



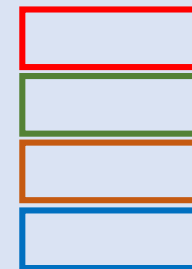
■共通するキーワード

①芝生やホワイエの活用

②多世代の交流/イベント

③施設の機能/新しい使い方

④学生の利用



ワークショップのまとめ

①芝生やホワイエの活用

芝生広場やホワイエを使った多彩なイベント（コンサート、ティラノザウルスレースなど）を通じて地域活性化を図る。

②多世代の交流・イベント

子どもから高齢者までが一緒に楽しめるワークショップや文化活動を通じた世代間交流の場を提供する。

③施設の機能/新しい使い方

防音室や国際対応施設としての活用し、音響・照明の研修会など施設の技術的サポートを強化する。

④学生の利用

学校帰りや休暇中の学習スペース、発表会や文化活動支援の場として、学生に利用しやすい環境を提供する。

その他の提案・意見

交流スペースや鑑賞型イベントを設け、幅広い層が楽しめる場を提供。Wi-Fi強化や料金体系見直しで利便性を向上する。

概要

- 日 時 令和6年10月22日（火） 17：30～19：15
- 場 所 諏訪市文化センター 第3集会室
- 内 容 ①前回のふりかえり
②ワークショップ「施設の将来像と事業展開を深掘りしよう！」
- 出席者 委員13名 ※傍聴者：一般1名、新聞記者2社

委員会の様子



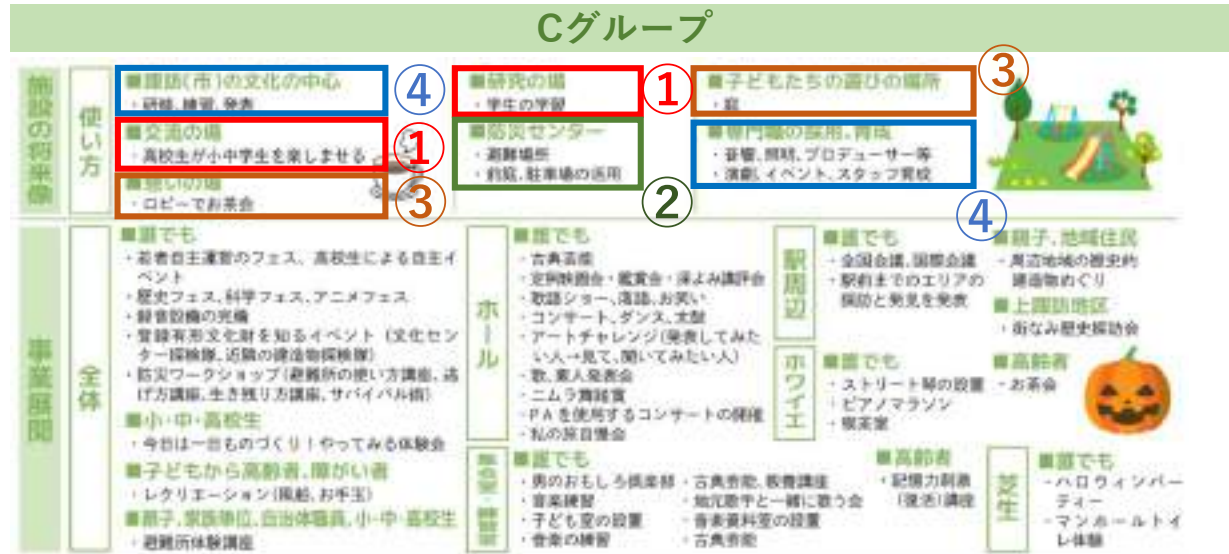
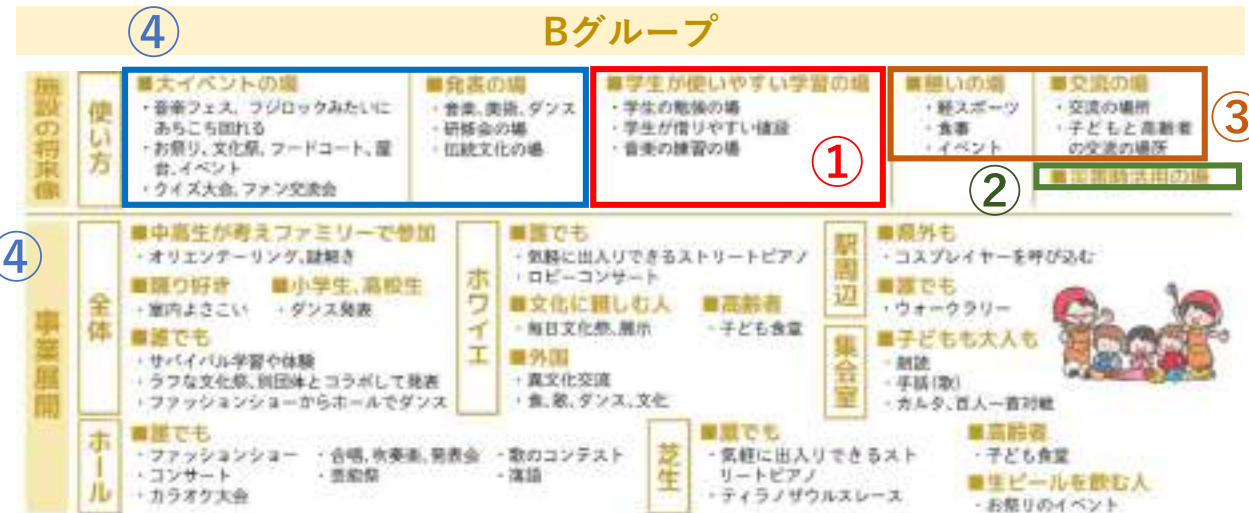
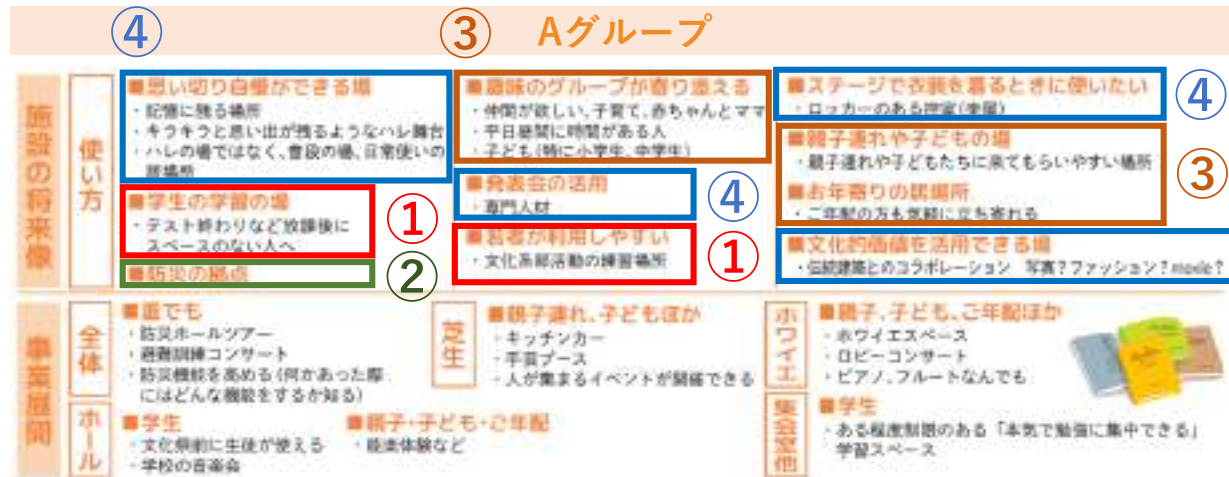
2-3. 第3回運営検討委員会

2. 運営検討委員会の内容と意見

ワークショップの結果

WS②テーマ「施設の将来像と事業展開を深掘りしよう！」

※広報すわ12月号挟み込みより



■共通するキーワード 【施設の将来像】(使い方)

- ①若者や学生が集まる場
- ②防災の拠点
- ③多世代交流/憩いの場
- ④文化芸術/発表の場

ワークショップの結果

①若者や学生が集まる場

事業展開

■全体

- ・オリエンテーリング、謎解き
- ・ダンス発表
- ・若者や高校生の自主運営フェス
- ・ものづくり体験会

■ホール

- ・文化祭前に生徒が使える、学校の音楽会
- ・高齢者が子ども達に昔の遊びを教える場所

■集会室

- ・学習スペース

②防災の拠点

事業展開

■全体

- ・防災ホールツアー、防災ワークショップ
- ・避難訓練コンサート
- ・サバイバル学習、避難所体験

■芝生

- ・マンホールトイレ体験

③多世代交流/憩いの場

事業展開

■全体

- ・レクリエーション（風船、お手玉）

■ホワイエ

- ・喫茶室
- ・異文化交流（食、歌、ダンス）

■集会室

- ・朗読、手話（歌）
- ・カルタ、百人一首対戦

■芝生

- ・キッチンカー
- ・手芸ブース
- ・子ども食堂

④文化芸術/発表の場

事業展開

■全体

- ・室内よさこい
- ・ラフな文化祭
- ・ファッションショーからホールでダンス
- ・歴史フェス、科学フェス、アニメフェス
- ・録音設備の完備
- ・登録有形文化財を知るイベント

■ホール

- ・能楽体験など
- ・ファッションショー
- ・ロビーコンサート
- ・カラオケ大会
- ・合唱、吹奏楽、発表会
- ・芸能祭
- ・歌のコンテスト
- ・古典芸能
- ・定例映画会
- ・歌謡ショー、落語、お笑い
- ・太鼓
- ・アートチャレンジ
- ・ダンス、ニムラ舞踏賞
- ・PAを使用するコンサートの開催
- ・私の旅自慢会

■ホワイエ

- ・ロビーコンサート、ピアノ、フルート
- ・毎日文化祭、展示
- ・ストリート琴

■集会室・練習室

- ・男のおもしろ倶楽部
- ・音楽練習
- ・子ども室の設置
- ・古典芸能、教養講座
- ・地元歌手
- ・音楽資料室の設置
- ・記憶力刺激（復活）講座

■芝生

- ・気軽に出入りできるストリートピアノ
- ・ティラノザウルスレース
- ・お祭りのイベント
- ・ハロウィンパーティー

■駅周辺

- ・コスプレイヤーを呼び込む
- ・ウォークラリー
- ・全国会議、国際会議
- ・駅前までのエリアの探訪と発見を発表
- ・周辺地域の歴史的建築物めぐり
- ・街なみ歴史探訪隊

ワークショップのまとめ

①若者や学生が集まる場

対象者: 若者、学生

内容: 学習スペース（放課後や試験期間）、文化活動（文化祭、音楽会）、趣味活動（ファッションショー、ダンス発表）

②防災の拠点

対象者: 親子、自治体職員、小・中・高校生、家族単位

内容: 防災教育（避難所体験、生存術講座）、地域全体の防災意識向上

③多世代の交流/憩いの場

対象者: 子どもから高齢者まで、親子、障がい者、家族

内容: 世代間交流（ワークショップ、食事会）、リラックス活動（芝生や軽スポーツ、風船遊び）

④文化芸術/発表の場

対象者: 地元住民、観光客、プロから初心者まで

内容: 音楽、伝統芸能などの展示・公演、異文化交流イベント（食事、ダンス、歌）

その他の利用提案

対象者: 親子連れ、高齢者、誰でも利用可能

内容: キッチンカー、科学フェス、ウォークラリー、記憶力刺激講座

概要

- 日 時 令和6年12月17日（火） 17：30～19：15
- 場 所 諏訪市文化センター 第3集会室
- 内 容 ①前回のふりかえり
②ワークショップ「ホワイエで開催できるイベントを企画し、実践しよう！」
- 出席者 委員12名 ※傍聴者：一般1名、新聞記者3社

委員会の様子



ワークショップの結果とまとめ

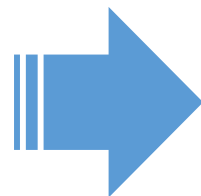
Aグループ		Bグループ		Cグループ	
イベント名	文化センターDE みて・さわって・かんじて！	イベント名	ダンスバトル大会	イベント名	ロビーコンサート+喫茶
目的・概要	誰でも多世代に文化に親しんでもらう	目的・概要	若者を文化センターに！	目的・概要	高校生が主役
対象	誰でも・多世代	対象	若者	対象	高校生
コンテンツ内容		コンテンツ内容		コンテンツ内容	
発表	・コンサート（フルート他）	発表	・ダンスバトル →エントリーを募る →大会賞金？品？来たならもらえる →DJが知っている曲を流す	発表	・コンサート →アコースティック（高校生以外の希望する団体、小中の合唱部、小中の吹奏楽部） →高校生が主役（市内三校吹奏楽部、吹奏楽アンサンブル、清陵音楽部（合唱）、清陵室内コンチェルト部、清陵古典ギター部、二葉合唱部）
展示	書、絵、短歌	展示	－	展示	美術部、書道部、華道部、写真部、文芸部
飲食	くつろぎ・喫茶コーナー	飲食	飲食	飲食	喫茶（諏訪実でやってもらえないか）、芝生でキッチンカー、演奏を聞きながら飲食
体験	ストリートピアノ・琴、読み聞かせ	体験	－	体験	－
予算	レンタルサーバー代	時期	高校生の春休み期間	その他	階段を使いたい（ミニファッションショー）
周知方法	広報すわ、市HP、市LINE、チラシ	運営体制	若者運営でみんなで参加		
		その他	傷害保険、ミラーボール		

■共通項目① 対象：若者（高校生）向け

■共通項目② 発表内容：コンサート

■共通項目③ 展示：あり

■共通項目④ 飲食：あり



▶イベントコンセプト

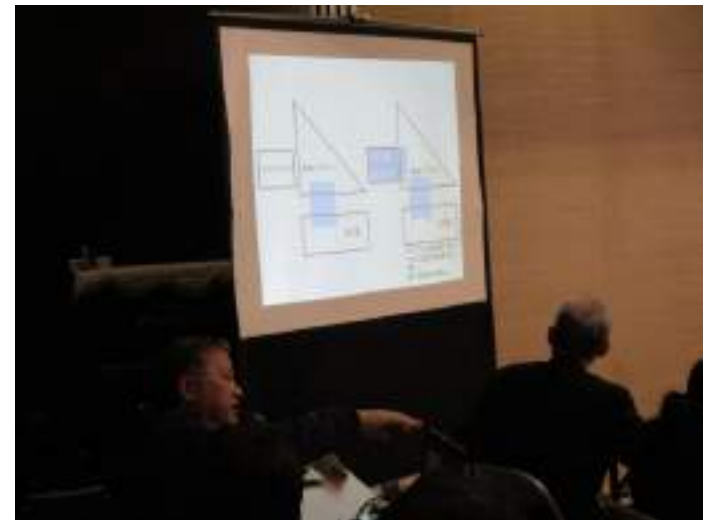
若者（高校生）向けのミニコンサート

※展示および飲食等の詳細な企画については、イベントの規模や会場のキャパシティ等を考慮しながら決定する。

概要

- 日 時 令和7年3月24日（月） 17：00～18：00
- 場 所 諏訪市文化センター 第3集会室
- 内 容 ①実施設計の内容について ②前回のふりかえり
 ③トライアルイベントについて ④来年度のスケジュールについて
- 出席者 委員11名 ※傍聴者：一般1名、新聞記者3社

委員会の様子



イベント概要

■ イベント名

アオハルminiコンサート in 文化センター

■ 日時

3月20日（木・祝） 14:00～16:00

■ 会場

諏訪市文化センター ホワイエ

■ 出演

- 諏訪清陵高校：音楽部、室内コンチェルト部
- 上諏訪中学校：吹奏楽部
- 諏訪中学校：吹奏楽部
- 諏訪西中学校：吹奏楽部（金管八重奏）
- 諏訪南中学校：吹奏楽部、合唱部

■ その他

キッチンカーの出店（クレープ、コーヒー）



申込不要 入場無料

～諏訪市文化センター運営検討委員会 発案～

アオハルminiコンサート in 文化センター

諏訪市文化センターのリニューアル後の活用等を検討する「諏訪市文化センター運営検討委員会」のアイデアをもとに、文化センターのホワイエを会場とした、若者が主役となるトライアルイベント「アオハルminiコンサート in 文化センター」を開催します。誰でも観覧できますので、ぜひお越しください！

詳しくは、ポスターをご覧ください！

日時 2025. 3/20 木・祝 14:00 ▶ 15:30 (予定)
(開場13:00)

会場 諏訪市文化センター ホワイエ
(〒392-0027 長野県諏訪市海岸通り 5-12・18)

出演予定

- 諏訪清陵高校：音楽部、室内コンチェルト部
- 上諏訪中学校：吹奏楽部
- 諏訪中学校：吹奏楽部
- 諏訪西中学校：吹奏楽部（金管八重奏）
- 諏訪南中学校：吹奏楽部、合唱部

キッチンカーも出るよ！

主催：諏訪市教育委員会事務局 生涯学習課 文化センター ☎0266-58-4807

イベント結果

出演団体数

7

団体

(高校1校、中学4校)

出演者数

110

人

観客数

230

人



合計

340

人



委員からの意見・感想

1. イベント全体の評価と反応

- ・若者の演奏に感動した。特に合唱や弦楽器演奏がよかった。
- ・出演者として、このような機会があると練習にもなるのでよかった。
- ・ホワイエはよく響くので、音楽練習や短時間の演奏会など多様な用途での活用の可能性がある。
- ・逆に響きすぎる点もあるので、音楽的な視点で活用を検討すべき。
- ・高校生が司会を務めた点はよかったが、高校生が担当していたことを事前にアナウンスしたほうがよかった。

2. 多世代交流の成功

- ・イベントを通じて、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流する様子が見られてよかった。
- ・芝生で遊ぶ中高生の姿や、キッチンカーやイベント後に集まって会話を楽しむ姿が印象的で、文化センターが地域の交流拠点として機能していると感じた。

3. 建築と空間の可能性

- ・ホワイエやエントランスホールの音響や建築的特性を活かし、練習やパフォーマンスの場としての利用の可能性がある。
- ・ホワイエの芝生側のドアを開放し、さらに出入りしやすくすることで、外部との連携が円滑になる。
- ・夜の時間帯におけるダンス練習や芝生の活用の可能性を感じた。

4. 運営面での改善点

- ・楽器の搬入口を第2搬入口にするなど、正面玄関の混雑緩和が必要。
- ・狭いリハーサル通路やステージへの導線などの考慮が必要。
- ・多くの観客が立ち見をしていたため、観客用の椅子や床に座れるスペースの拡充が必要。席はお年寄り優先で利用してほしい。
- ・観客が多く集まったため、安全性を考慮し、避難経路についての周知が必要。
- ・マイクなどの備品の動きについて、出演者側ともしっかり連携を取ったほうがよかった。
- ・固定楽器は色分けしたバミリを利用するなどしたほうがよかった。

5. 今後の展望

- ・改修前に再度このようなイベントを開催してほしい。
- ・吹奏楽であれば芝生コンサートもできそう。
- ・落語やコント、日本の伝統文化、ジャズや民族音楽なども面白そう。
- ・ピアノなどの常設の楽器や、Bluetoothなど使える音響設備があれば利用の可能性は広がりそう。
- ・ストリートピアノを置くなどしたら面白いかもしれない。
- ・学校の部活動等の一環として持続可能性はあると思う。その場合、企画プロデュースを中学生に投げかけてみると面白い。

ホワイエ活用のポイント



Point 1

ホワイエの特性を活かした イベントの開催

- ・ホワイエのキャパシティや音響環境を生かした定期的なイベントの開催

Point 2

多世代の交流の場

- ・若者が発表できる場の提供
- ・子どもから高齢者まで多世代が交流できる場の提供

Point 3

気軽に立ち寄れる 空間づくり

- ・ソファやベンチ、WiFiの設置など 快適性の向上
- ・芝生や図書館との連携

Point 4

広報と飲食の充実

- ・SNS活用の強化
- ・キッチンカーなど飲食の充実

概要

- 日 時 令和7年6月10日（火） 17：30～19：00
- 場 所 諏訪市公民館 視聴覚室
- 内 容
 - ・ 令和6年度諏訪市文化センター運営検討委員会のふりかえり
 - ・ 改修計画の全体像について
 - ・ トライアルイベント第2弾について
 - ・ 意見交換会「文化施設の活用と魅力発信について」
- 出席者 委員 11名 ※傍聴者：一般3名、新聞記者3社

委員会の様子



意見交換会

信州アーツカウンシルのゼネラルコーディネーターである野村政之様をお招きし、文化施設の活用や魅力発信について意見交換を実施しました。

■Point

- 地域の人達の主体性と連携しながら、文化施設の価値を見つけていくような「地域協働共創型」の取り組みを試みたり、人を集めるような芸術創造を行ったり来たりする中で、公共文化施設の価値を市民と共有していくのがよい。
- 諏訪市文化センターは、**ユニークな建築と庭が近いという空間的な個性**がある。
- まちづくりの視点や周辺エリアとの連携を考えると、**文化芸術に馴染みがある人だけでなく、色々な人が庭やホワイエを往来しながら新しい出会いを見つける場所**になるのがよい。
- 佇めるようなカフェやコワーキングスペースを作るなど、**サードスペースとして落ち着ける場所**になれば文化的な出会いに繋がるのかもしれない。
- 集会場として居心地のよい環境を整えるために、**現代的なアップデート**はしていったほうがよい。

概要

- 日 時 令和7年11月10日（月） 17：30～19：00
- 場 所 諏訪市公民館 視聴覚室
- 内 容
 - ・これまでの経過報告
 - ・賑わいスペースの使い方について
 - ・利用規則および料金体系について
- 出席者 委員11名 ※傍聴者：一般2名、新聞記者3社

委員会の様子



賑わいスペースの使い方について

■ホワイエ、中庭



意見

- ・ホワイエなど自由に出入りできる空間で、気軽に行き来できるようにコインロッカーがあれば良い
- ・シンガポールのガーデンズ・バイ・ザ・ベイのように、将来的に完成するような植物で満たされた作品や空間を、利用者や市民と一緒に作っていったら良い

■フリースペース



意見

- ・火曜日は開館してほしい（すわっちゃオが火曜日休館のため）
- ・高校生は勉強する場所を求めているので、学校への周知をすれば集客はできると思う。
- ・空席状況をリアルタイムで確認できるHPなどがあれば良い。

■芝生を含めた敷地内エリア



意見

- ・ガラスに向かってダンスの練習をすることがあるので、夜でも練習できるように虫が寄らないライトが設置されたら良い
- ・近くにトライアル店舗のような形で飲食店が設置されればよい。
- ・広域避難所として、防災の備えが必要である。

■全体

意見

- ・市民が利用しやすいように柔軟に設定してほしい。
- ・上諏訪駅の再開発の一環として文化センターの敷地だけでなく、公民館の跡地や東バル跡地なども含めた全体の視点で考えてほしい。
- ・サードスペースやサードプレイスの概念について、市民の人の動きやタイムスケジュールの想定が必要だと思う。
- ・この場所で何ができそうかななどを図面の中に書き込んでみてほしいと思う。

利用規則および料金体系について

■利用規則

意見

- ・開館が9：00からだと準備の時間がないので、8：30から開館できれば良い。
- ・他施設の休館日とバッティングしないように設定できるとアドバンテージになる。
- ・市民が使いやすいように柔軟に設定してほしい。
- ・専門スタッフがいてサポートしてもらえる体制があると安心できる。

■料金体系

意見

- ・ホワイエの活用でストリートピアノを設置した際の備品料金やミニコンサートをした際の利用料金について
- ・登録団体の減算について
- ・練習料金や学生料金があれば利用しやすい。
- ・特定の団体に所属している場合に減免などがあれば、団体加入の促進にもつながると思う。
- ・使用用途や目的によって柔軟に料金を設定してもらえると助かる。
- ・当日時間を変更する可能性を考慮して、最低限の料金を事前に支払い、追加分を後日支払うような対応があると使いやすい。
- ・備品について、当日使わない備品などがある場合を想定して融通が利く設定にしていただけるとありがたい。

概要

- 日 時 令和8年2月5日（木） 17：30～18：45
- 場 所 諏訪市公民館 視聴覚室
- 内 容
 - ・ 情報共有について
 - ・ 運営方針/体制について
- 出席者 委員10名 ※傍聴者：一般1名、新聞記者2社

委員会の様子



委員からの意見

■運営方針

- ・運営方針の中に外に発信していく力などを加えながら、情報発信について新たなスタッフを付けるなどして一緒にPRできれば良い。
- ・自主事業について、地域の人や親子、学生などを呼んで、その人たちの意見を反映させるという企画立案自体をイベントにしてしまうのも良い。

■運営体制

- ・ホールの貸館事業には、専門スタッフも関わるべき。
- ・文化センターの中にイベントの企画や運営を行うボランティアの学生団体を入れてみてはどうか。
- ・専門スタッフの配置・育成について、文化センターの活動を通じて市民を専門スタッフになりうる人として育成していくために運営体制を検討していくことが重要だと思う。市民が思いを形にする仕組みや専門性を持った人がサポートしてくれるなどの体制が大切。
- ・将来的に市民が照明や音響をできる体制など、育成という視点はとても素晴らしいことだと思う。
- ・専門スタッフは安全性の確保など責任を伴うので、組織として委託なのか常駐なのかなど、きちんと決めていく必要があると思う。
- ・指定管理について、利用料金制や一部委託など、様々な視点から検討していただきたい。

■その他

- ・花道や袖幕の整備、舞台袖の大きい姿鏡などがあった方が良い。
- ・ステージの上でヒールが履けるなど、ひと手間が無くせる工夫があったら良い。

概要

- 日 時 令和8年3月24日（火） 17：30～18：50
- 場 所 諏訪市公民館 視聴覚室
- 内 容
 - ・ 令和7年度運営検討委員会のまとめについて
 - ・ リニューアル後のビジョン・運営方針等について
- 出席者 委員10名 ※傍聴者：一般3名、新聞記者3社

委員会の様子



委員からの意見

■ リニューアル後のビジョン・運営方針について

- ・ ビジョンと運営方針の連動について、運営方針③の居場所づくりも柱の中にしっかり入れるのであれば、ビジョンに明示した方が良い。
- ・ ビジョンに描かれている「自主事業」と「貸館事業」の区別を分かりやすくした方が良い。
- ・ 運営方針の「専門スタッフの配置・育成」について、専門スタッフをただ配置するだけでなく、市民団体などが関わる中でスタッフが育っていく仕組みが重要になると思う。
- ・ 運営方針の「文化財価値を体感できる環境づくり」について、いかに市民に愛され、未来へ繋いでいくべき施設だということを感じてもらうかが特に重要だと思う。

委員からの意見

■各部屋の貸出パターンと貸出区分について

- ・ ホワイエの予約について、賑わいスペースとしての期待が高まっているように感じているので、ホールの予約との両立ができるような工夫を検討してほしい。
- ・ 第2集会室の貸出について、可動壁で分けて借りた場合に比べて、つなげて借りた場合で料金が安くなるなどあれば、利用者として借りやすいと思う。
- ・ 他施設の例では、ホワイエを単独で貸出しているが、ホールの利用があった場合はホワイエの半分はホール利用者に優先されるという運用がある。そういった細かい運用も検討されたい。
- ・ ホワイエの展示とホール利用者のバッティングを許すとすれば、他施設で運用している壁面貸しという考え方が参考になると思う。
- ・ 学生でイベントをする場合、入場料を取ると営利目的で利用料が高くなってしまうので、基本的には無料で開催することが多い。学生が利用しやすい料金体系を検討していただけるとありがたい。
- ・ イベントを開催する場合、準備・片付けが必要になるので、準備・片付けの料金が設定されるのはとても良いことだと思う。ホールだけでなく、集会室でも適用されるともっと良いと思う。
- ・ 入場料ではなく実費徴収の場合でも営利目的とみなされることもある。学生はもちろんのこと、利用者全体に対しても利用しやすいように検討されたい。
- ・ ホール利用者は必ずホワイエを通るはずなので、ホワイエを単独貸しすることは避けるべきだと思う。
- ・ 例えば、文化センターを夜ダンスの練習ができる場所にするとすれば、夜に学生がいても安全な場所や雰囲気づくりを市が推進していく必要があると思う。全国的に注目されているユースセンター構想という考え方が、今後若者が集まる場所とするための手掛かりになると思う。

概要

- 日 時 令和8年7月27日（月） 17：30～19：00
- 場 所 諏訪市公民館 視聴覚室
- 内 容
 - ・ リニューアル後のビジョン・運営方針の策定に向けて
 - ・ 諏訪市文化センター運営検討委員会のまとめについて
- 出席者 委員11名 ※傍聴者：一般2名、新聞記者2社

委員会の様子



委員からの意見

■ リニューアル後のビジョン・運営方針について

- 諏訪市文化センターが北澤会館として建設されてこれまで歩んできた歴史が分かるような表現について、ビジョン・運営方針（案）の中でも、リニューアル後の冊子の中でも良いので入れてほしい。
- 運営主体が指定管理の場合、運営方針を中心に組み立てていくことが多いので、貸館事業も積極的に推進していくのであれば運営方針の中に入れ込んだ方が良い。
- 歴史を入れ込むのであれば、文化センターが歌舞伎や能など古典芸能を目的として作られたという経緯も入れた方が良い。
- 専門スタッフを入れることが決まっているのであれば明記した方が良い。

委員会の感想や文化センターへの思い

- 2年間の任期中、皆さんとワークショップで話し合うなど普段あまりない経験をさせていただきとても楽しかった。私は数十年前に舞台に関わる仕事をしていた際にいろいろな文化会館で仕事をする機会があったが、その頃と比べると今の文化センターに求められるものは少し違ってきていることを運営検討委員会で感じる事ができた。文化を発信する場としての機能を持ちつつ、市民の安全を確保できる場として、そして何より若い世代の方はもとより幅広い年代の方が集える場として、諏訪市文化センターが愛される施設になってもらえると嬉しく思う。
- この委員会のように文化センターのファンが集まるような輪がどんどん広がっていけば良いと思う。今回のビジョン・運営方針の中に「地域社会のハブ」という言葉と広告宣伝を強化していくという表現があるが、これだけ素晴らしい計画を実行していくのは市の職員だと思っているので、準備期間やスタートアップの時には勢いのあるメンバーを揃えてほしい。そういった勢いのある職員をぜひ応援したいと思っている。
- 自分は移住者なので、皆さんの実体験としての文化センターの話を聞いて楽しく勉強することができた。総合教育会議を傍聴した際に、諏訪のレガシーである文化センターの歴史をととても大事にしていることを感じて、ソフト面の充実も含めて未来像が見えてきたと感じた。楽しみにリニューアルオープンをお待ちしたいと思う。
- 文化センターは個人的に生け花として利用していたが、施設が古いので出来栄えに影響があった。改修でキレイになれば花も映えるので、良い会館ができると期待している。高校生の柔らかい頭のアイデアがとても有意義で大事なことだったと感じた。この委員会の中で何かが生まれるように続いていくことができれば良いと思う。

委員会の感想や文化センターへの思い

- 自分が歌手である第1歩がこの文化センターのステージだった。当時は消防署への申請など全て自分で届け出たが、これからスタッフのサポートが充実していけば良いと思う。これから大きな期待をしているので一緒に諏訪市を盛り上げていきたい。文化センターになったら嬉しく思う。
- 高校生の時に第1回定期演奏会を文化センターで開催したことを覚えていて、当時私たちにとって文化センターのステージに立つということは夢のまた夢であって、そこで演奏できる喜びは今でも忘れないような素晴らしい場所（自分の表現の場や新たな音楽との出会いの場、新たな人との出会いの場）だった。トライアルイベントで合唱を聞いたとき、ホワイエの音響が素晴らしく、演者と観客が良い距離感で鑑賞できて新しい可能性を生み出したことが委員会の中で一番思い出に残っている。これから諏訪市を作っていく子供たちにとって、このホールが文化芸術を体感できて、柔らかな発想力でチャレンジできる場になって、いつまでも使い続けていける場所になれば良いと思う。
- 当時あった市民会館と北澤会館は雰囲気違う本当に素敵なホールだと感じた。その委員会に関われたことが嬉しく思う。皆さんの素晴らしい意見をたくさん聞くこともできて、本当に勉強になった。
- 皆さんの意見はもとより、特に高校生の発想は普段味わうことのない意見でとても勉強になった。改修後の文化センターには反響版がつけられないということで、例えば生音に近いようなPAの使い方など、そういう機械や専門家を配置しないと生音の音楽をやることは難しいと思う。他施設をみても音楽を目的とした利用は多いと思うので、音楽をできるようにしてほしい。これから文化センターを大いに活用させてもらっていい方向に進めていきたい。

委員会の感想や文化センターへの想い

- この建物は歴史的建造物として未来に継承されていくことになったが、これからは市民の皆さんがこの施設や文化財とどのように関わり続けていくかというソフト部分の営みになると思う。これまで高校生を含む市民の皆さんがこの場に集って意見交換を重ねてきたこと自体が新しいまちづくり、地域づくりの第一歩になっていると感じた。新しい建築の魅力を発見していただき、既成の枠組みを超えていく創造性のある取り組みや意見があり大変勉強になった。専門家ではなく、市民の皆さんに実際に利活用の側面から施設が持っている弱みをどう強みに変えていけるかなど深く議論いただき、専門家としても非常に嬉しく、文化センターという建物自体もおそらく喜んでいると思う。長らく利用されてきた歴史の蓄積に敬意を表すということは大切なことだと思っており、市民の主體的な取り組みによって生まれた新しい文化や新しいコミュニティの受け皿・拠点として、地域の愛着の記憶を将来に繋いでいきながら育んでいける豊かな場所になることを心から願っている。

委員会の感想や文化センターへの思い

- 前回の振り返りでお話しさせていただいた専門スタッフをただ配置するだけでなく、市民団体などが関わる中でスタッフが育っていく仕組みについて個人的な意見として整理してきたのでお話ししたい。目的は、市民劇団を核とした人材育成の仕組みを構築し、市民自らが文化活動を支え、次世代に技術と経験を継承できる文化センターを目指すということ。演劇は照明、音響、大道具、その他もろもろを自分たちで行う総合芸術であり、そのノウハウは文化センターで使えるノウハウだと思う。文化センターは劇団を支援し、劇団はその専門技術を提供するという関係を作ることが市民が自ら関わることにつながる。ホールを支える人材の育成システムとして劇団を持つことに意味があると思う。駐車場係やチケットの取り扱い、場内の案内など、専門性を持たなくても関わるができる分野については、多くの市民に呼びかけて登録制にして、ボランティアスタッフとして活躍いただけるように同時並行で考えたらよいと考えている。舞台操作など安全性を担保するために、諏訪圏域で長く演劇や舞台芸術に関わっていた人に顧問になっていただき、専門技術を指導していただくことが良いと思う。また、芸術認定証を発行するような講習会を毎年開催して劇団の専門技術を認定してくれるシステムを同時に持つことが良いと思う。組織については、劇団だけでなく、文化センターの運営委員会のようなものがあり、音楽を含めたあらゆるイベントやホールの年間スケジュールについて検討することが良いと思う。委員会は利用者の代表や教育委員会、有識者で構成し、その下に劇団があって、技術的なサポートをするというような関係で、さらに専門性がなくてもできる市民サポーター組織を作れば、多くの市民が運営に関わる、市民が育てていくような文化センターになるのではないかな。

委員会の感想や文化センターへの想い

- 今後、任期が切れたとしても、意見や提案などあればぜひ事務局にお伝えいただきたい。北澤会館の歴史の話をすると、当時はたくさんの方々が朝晩文化センターの通りを行き来していたような、賑わいにあふれた場所であったことを少しだけ知っている。これからささやかな活動の拠点として新しい文化センターが機能して人が集まってもらえるような場所になれば嬉しい。今後、新しい組織など検討していくと思うが、極力市民の意見をうまく吸い上げながら進めていただきたい。
- 文化センターは部活の発表の会場でもあったので大好きな施設ではあったが、一人の高校生として要望をお伝えできていたら良いと思う。とても貴重な経験になった。将来の学生にとって心地の良い場所になるような文化センターになったら嬉しく思う。

3. 運営検討委員会の総括

3. 運営検討委員会の総括

運営検討委員会の総括

令和6
年度

- 委員会の中で計3回のワークショップを実施し、文化センターの将来像や具体的な事業展開など、活発な意見交換をしていただいた。
- ワorkshopで提案いただいたアイデアをもとに、トライアルイベントをホワイエで開催し、リニューアル後の文化センターを活用する上での検証を行った。

令和7
年度

- 信州アーツカウンシルのゼネラルコーディネーターである野村氏との意見交換を実施したほか、事務局で各種フォーラムに参加し、先進事例の共有を図った。
- リニューアル後の活用を検討する上で重要となる賑わいスペースの使い方や、利用規則/料金体系、運営方針/体制について、様々な視点からご意見をいただいた。
- リニューアル後の管理運営の基礎となるビジョンおよび運営方針等について、ご意見をいただきながら素案を作成した。

令和8
年度

- ビジョン・運営方針（案）についてのご意見をいただいたほか、諏訪市文化センター運営検討委員会の総括を行った。

4. リニューアル後のビジョン・運営方針について

4. リニューアル後のビジョン・運営方針について

ビジョン

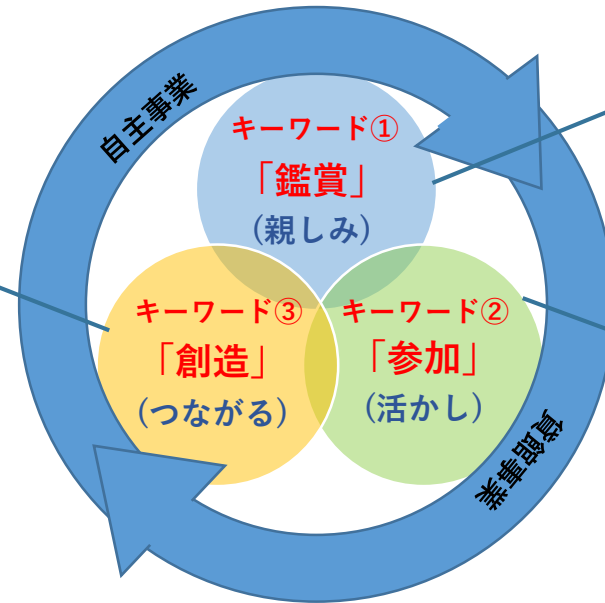
基本理念:「親しみ」「活かし」「つながる」文化芸術活動の拠点

文化芸術に**親しみ**、生涯にわたって自発的に学び続け、個人やグループが学んだ成果を**活かし**、文化芸術を通じて仲間を広げ、人と人が**つながる**施設運営を目指し、**文化芸術活動の拠点**として駅周辺の魅力向上に寄与します。

基本理念を実現するためのアプローチ (方針・具体的な取組)

自ら文化センターを利用した文化活動を企画**（創造）**し、実施する。

- 具体的な取組例
- ・多世代交流の創作イベント
 - ・学生主催イベント（ファッションショー、学生フェスなど）
 - ・ステージで聴くベーゼンドルファー
 - ・中庭を活用した市民と利用者協働の空間づくり
 - ・専門スタッフ配置 など



文化センターを利用した文化活動を**鑑賞**する。

- 具体的な取組例
- ・古典芸能公演、文化芸術発表会、上映会
 - ・文化芸術に関する講演会や研修会
 - ・ホワイエや芝生を活用した公演 など

文化センターを利用した文化活動に自ら加わり、表現活動に**参加**する。

- 具体的な取組例
- ・芸能祭、文化祭
 - ・市民参加型のイベント提案
 - ・学生ボランティアやサポートメンバー育成
 - ・能楽/和楽器体験、古典芸能講座 など

多世代交流（賑わいの場の活用、近隣施設との連携など）

広報宣伝（情報発信や情報提供、営業活動の強化など）

事業を展開する中で活かしたい諏訪市文化センターの特徴

1. 伝統芸能に適した舞台構造、寄席をイメージさせる客席配置、聴講などに適したホール
2. 会議や講座のほか、即売会や展示会、音楽など多様な用途で使用可能な集会室・リハーサル室など
3. 広い芝生を正面に有するユニークな空間と、上諏訪駅から市街地へのハブとなる立地
4. 市街地の中で、広い敷地を活用した大型駐車場の完備
5. 諏訪の産業史を物語る文化遺産（吉田五十八による建築作品であり、国登録有形文化財）

耐震化を図り、防災拠点としての機能向上による安心・安全な施設

文化芸術活動の拠点として駅周辺の魅力向上

住民参加により

特徴や機能を活かし

4. リニューアル後のビジョン・運営方針について

運営方針

諏訪市文化センターの基本理念を実現するために、運営方針について以下の5つの項目に整理した。

① 伝統芸能など優れた文化芸術に親しむことができる拠点づくり

諏訪市文化センターの特徴を活かし、伝統芸能など多様かつ質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、市民が文化芸術に親しむことができる拠点をめざします。

② 市民の活動を活かしながら文化芸術活動を創造できる体制づくり

文化芸術活動に取り組む市民をサポートし、参加を促す仕組みや体制を整えながら、文化芸術活動を創造・提供できる専門スタッフの配置や育成に取り組みます。

③ 誰でも気軽に立ち寄れ、人と人がつながる居場所づくり

いつでも気軽に集うことができ、子どもや学生、子育て世代、お年寄りなど全ての世代の交流が生まれるような居場所をつくりまします。

④ 文化財としての歴史的価値を体感できる環境づくり

諏訪市の誇る文化財としての価値を含めた魅力発信を強化し、全ての人がその価値を体感できる環境を整えることでシビックプライドの醸成につなげます。

⑤ 防災拠点として安心・安全に活用できる施設づくり

広域避難所としての各種機能および物資を整備し、安心・安全で活用できる施設をめざします。

キーワードとのリンク

キーワード①
「鑑賞」
(親しみ)

キーワード②
「参加」
(活かし)

キーワード③
「創造」
(つながる)

キーワード③
「創造」
(つながる)

4. リニューアル後のビジョン・運営方針について

利用イメージ（1F）

リハーサル室

ホール利用者のリハーサル、ダンス、合唱、小規模の吹奏楽など



運営方針①

中庭

日常的に落ち着ける賑わいスペース、市民協働の空間づくりなど

運営方針③

ホール

運営方針①・④

伝統芸能、音楽、講演会、演劇、式典・大会など



防災倉庫

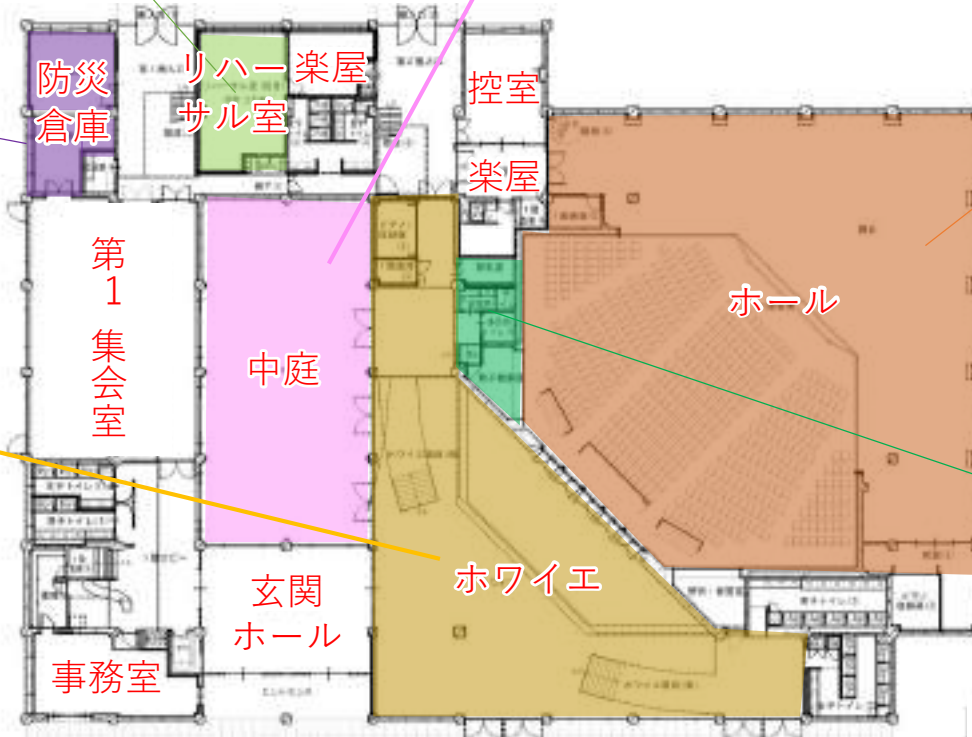
運営方針⑤

有事に備えた防災物品などの保管

ホワイエ

運営方針①・③・④

日常的に落ち着ける空間、小規模イベント、展示会など



授乳室、幼児用WC、親子観劇室

運営方針③

子育て世代に使いやすい設備



4. リニューアル後のビジョン・運営方針について

利用イメージ（2F/周辺）

第4集会室

運営方針①

防音仕様で、会議だけでなく音楽などの利用も可能

シャワー室

運営方針①

歌舞伎など伝統芸能の演者やリハーサル室利用者など

楽屋

運営方針①

出演者の楽屋や控え室など



フリースペース

運営方針③

楽屋として利用がない場合は、学習スペースやワークスペースとして開放



ユーティリティスペース

運営方針③

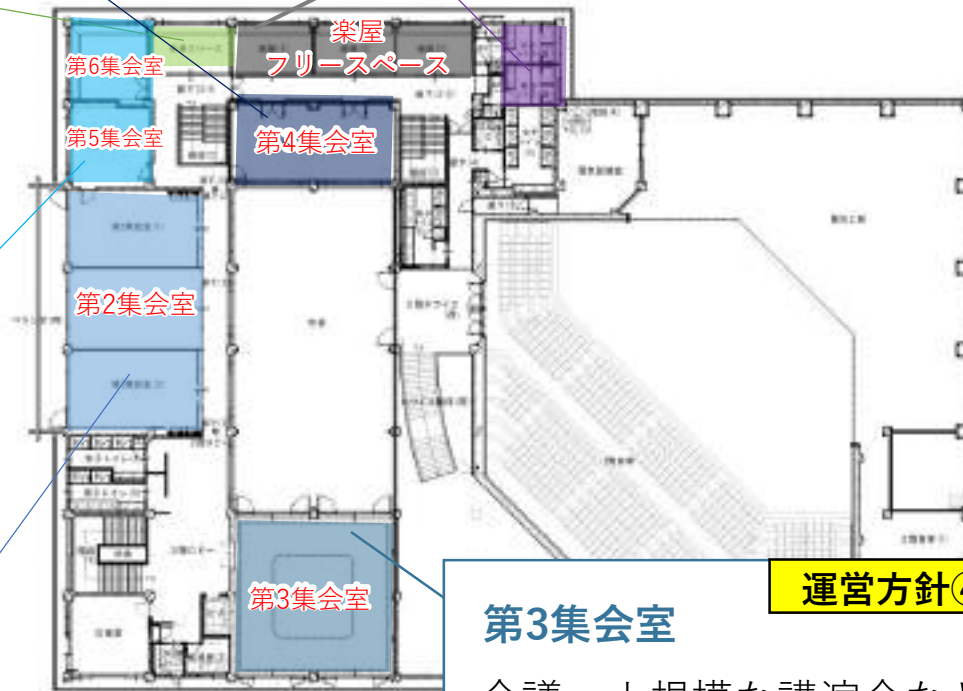
利用者の休憩スペースや備品保管など、様々な用途に対応可能

第5集会室、第6集会室

会議、学習スペースなど

第2集会室

会議、講演会、展示会など
※可動壁により最大3部屋に分割可能



第3集会室

運営方針④

会議、小規模な講演会など

芝生エリア

運営方針③

日常的に落ち着ける賑わいスペース、野外イベント、近隣施設との連携イベントなど

